

1. 工事概要

工事名 平成23年度 1号浜松管内東部路面補修工事
 工事箇所 藤枝市谷稲葉～掛川市八坂地内
 工期 平成23年9月6日～平成24年3月23日

工事内容	舗 装 工	区 画 線 工
谷稲葉工区	4,330 m ²	2,750 m
東光寺工区	1,980 m ²	1,210 m
向谷工区	1,430 m ²	1,180 m
菊川工区	2,020 m ²	1,280 m

2. はじめに

本工事はバイパス本線上の傷んだ舗装を切削し舗設する工事である

3. 現場条件に関する創意工夫

バイパス本線上で通行規制を行えないため事前測量を3Dスキャナーを用いた

今回の施工現場は藤枝バイパス・島田金谷日坂バイパスの車道本線上での作業となる。切削工、及び舗装工の事前測量は車線を規制しての測量は一般車両への影響が大きく規制をかけるのが困難なため、路肩からの測量が行える3Dスキャナーでの測量を実施した。この測量方法を使用した結果、車線を規制することなく路肩より測量したので一般の車両には規制をかけることなく、安全に測量することができた。



3Dスキャナー

4. 施工管理に関する創意工夫

情報化施工のTS出来形を活用し出来形を測定する（谷稲葉工区）

今回情報化施工のTS出来形を活用し出来形を測定する。現道（バイパス）上で対象工種の切削工、中間層、表層の出来形をTS測量機とデータコレクタにより、出来形の形状を計測し、出来形管理帳票作成まで電子データで行った。TS出来形を使用した結果、現場で取得したデータをパソコンに取り込んで変換すると出来形帳票が作成でき時間短縮にはつながった。

DEKISPART

デキスパート

情報化施工

稼働台数
無制限!

平成18年度
情報促進員
情報処理システム表彰
受賞

No.1

全国導入実績
27,000社

信頼と実績の「デキスパート」から情報化施工対応ソフト

DEKISPART

情報化施工 (TS出来形) サポートツール

「現場大将・出来形管理システム」オプション

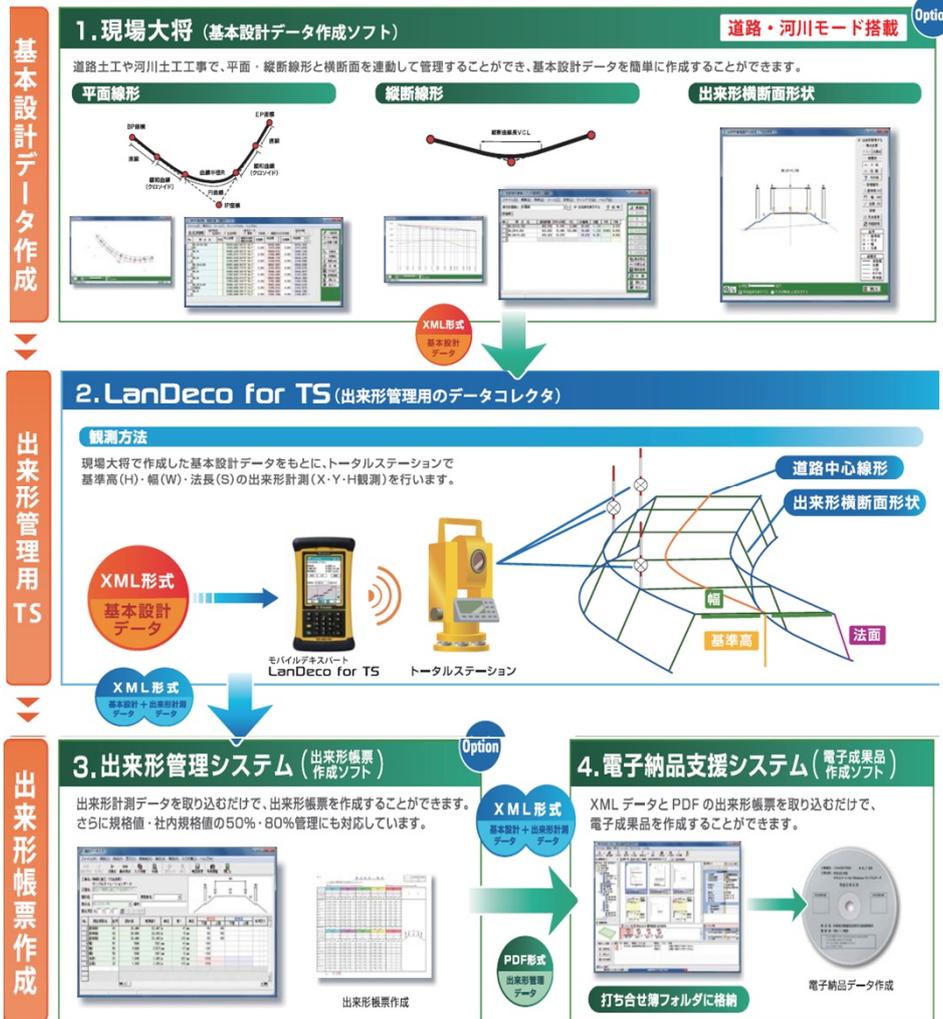
業界初! 施工管理データ交換標準(案)Ver2.0 対応[※]

「施工管理データを搭載したトータルステーションによる出来形管理要領(案)H20.3月版」

※「TSによる出来形管理に用いる施工管理データ交換標準(案)Ver1.0,Ver2.0」

「TSによる出来形管理に用いる施工管理データ作成・帳票作成ソフトウェアの機能要求仕様書(案)」

総合評価落札方式の技術提案で高度技術と工期短縮を実現!



5. 新技術活用に関する創意工夫

ICT端末を使用することによりTSで取得したデータを記憶させてデータを処理する

書き写しパソコンに人力にて入力をしなければいけない。

このICT端末は設計データを各測点ごと入力しておけば、データ取得時に内部に自動で帳票作成まで行える。座標のデータ管理や手入力による入力ミスが無くなり効率的に管理できた。

